

授業科目名 <英訳>	文化行為論 2 A Theories of Cultural Practices 2A				担当者所属・ 職名・氏名	人文科学研究所 教授 田中 雅一					
配当 学年	修士	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 前期	曜時限	月2	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
分野名	文化人類学										
【授業の概要・目的】											
文化行為論は日常実践に焦点を絞る文化・社会人類学である。そして日常実践を複数の権力が作用するアリーナととらえることで、「未開」、宗教、環境、暴力、ジェンダー、セクシュアリティなどの諸概念を再考する。											
【到達目標】											
一見普遍的と思われる価値観の相対的な性格、あるいは文化・社会依存的な性格について理解を深め、私たちを取り巻く社会状況についての批判的な視点を獲得する。今年度は、ジェンダー・セクシュアリティ、エスニシティなどに関わる暴力や事件を取り扱う。											
【授業計画と内容】											
最初に現代人類学の状況を概括し、異文化を理解することの意義を考える。その後は、暴力、トラウマなどに注目し、民族、文化、ジェンダー・セクシュアリティが交錯する領域をテーマとする。 1-2週)文化人類学の変貌、ジェンダーとセクシュアリティ 3-4週)売春/セックスワークと女性への暴力 5-6週)性的暴力 7-8週)ホロコースト/ショア 9-10週)基地問題 沖縄と環太平洋地域 11-13週) 負の世界遺産とダークツーリズム 14週) トラウマと社会的苦悩 15週) まとめ											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
平常点、とくに小レポートと授業内での発言を評価する。											
【教科書】											
使用しない											
----- 文化行為論 2 A(2)へ続く -----											

## 文化行為論 2 A (2)

### [参考書等]

(参考書)

授業中に紹介する

各テーマについては授業中に参考文献を紹介したり、資料を配布する。

### [授業外学習(予習・復習)等]

授業では映像作品の上映や討論が中心となるため、関連する文献や配布資料を授業の前後に読んでおくこと。

### (その他(オフィスアワー等))

使用する映像資料の中には心身にきわめて不快な影響をおよぼすシーンが多出するものも含まれています。鑑賞するかどうか、また上映中の退出は本人の判断に任せます。

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~shakti/> 田中雅一のホームページ

オフィスアワーは特に設けない。問い合わせやアポイントは [shakti@zinbun.kyoto-u.ac.jp](mailto:shakti@zinbun.kyoto-u.ac.jp) で受けつける。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。